

令和4年度 医学生のための産婦人科セミナー アンケート集計 (概要)

2023/02/04開催

1 大学別受講者数

【府内】

所属	人数
大阪大学	5
近畿大学	2
大阪医科薬科大学	1
関西医科大学	1
大阪公立大学	0
合計	9

【府外】

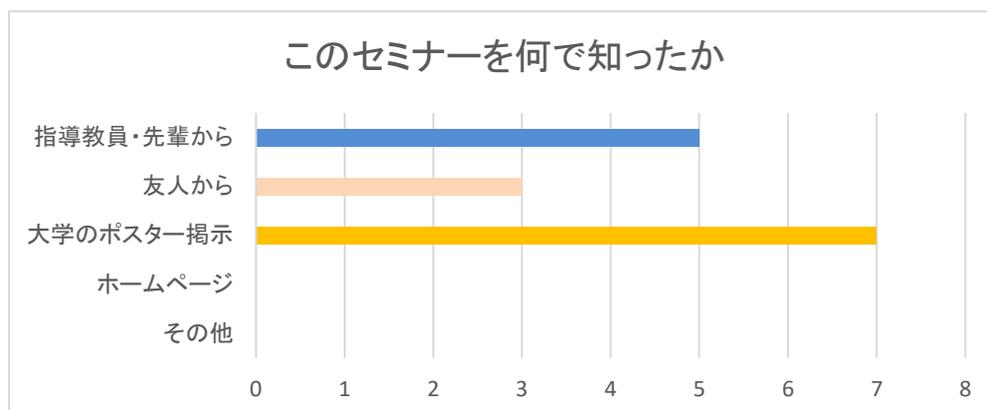
所属	人数	うち 京阪神出身
東北大学	1	
杏林大学	1	
帝京大学	1	
東京女子医科大学	1	
東京大学	1	1
京都大学	1	1
合計	6	2

参加者合計 15名

(内、男 7名、女 8名)

【備考】 応募人数18名のうち、当日キャンセルを含め不参加が3名あった。

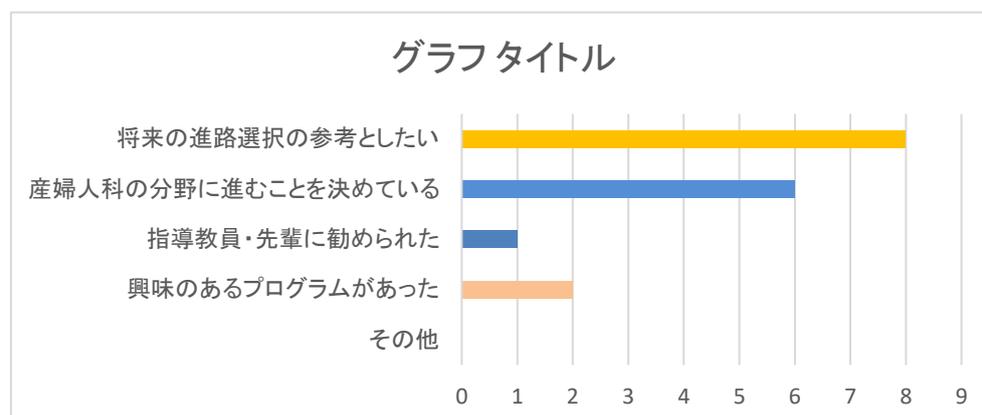
2 セミナーを何で知ったか n=15 (重複回答可)



【考察】

・セミナー参加者を集めるには口コミが有効だが、大学構内でのポスター掲示の効果もみられる。

3 参加を決めた理由 n=15 (重複回答可)



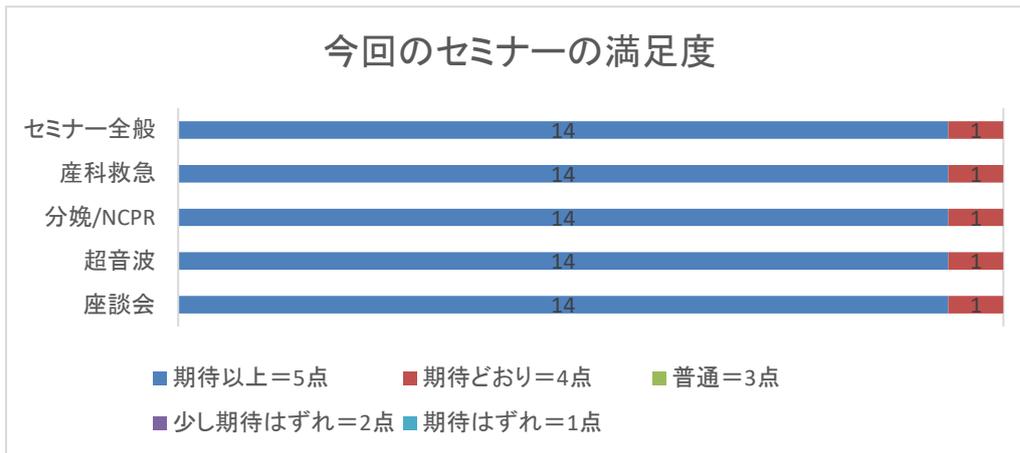
【考察】

・興味のあるプログラムには、「産科救急」と「超音波エコー」が挙げられた。

4 今回のセミナーの満足度

期待以上 = 5点、期待どおり = 4点、普通 = 3点、少し期待はずれ = 2点、期待はずれ = 1点
とした場合の平均点

セミナー全般	産科救急	分娩 /NCPR	超音波	座談会
4.9	4.9	4.9	4.9	4.9



5 おもな感想

《内容やボリュームについて》

- ・ボリュームも難易度もちょうど良かった。
- ・内容とボリュームは適切。
- ・少し緊張していたが、和やかな雰囲気でもとても楽しかった。
- ・興味深い内容ばかりで、楽しかった。

《産科救急について》

- ・産科救急の実習は初めてで一番印象に残った。
- ・産科救急のシミュレーションが難しかった。
- ・あまりない中で、自分たちで考えなければならず、ワクワク感がより実感できてよかった。
- ・産科救急に興味が有り、実践的(ケーススタディ)で面白かった。

《分娩/NCPRについて》

- ・分娩の手技は大きな学びだった。病院実習だけでは習得できない。
- ・実践的な方法であり、今後の糧となった。
- ・実際に触れてみることで、先生方が普段どのようなことを知っているのか具体的に想像できた。
- ・内診や分娩のシミュレーターは大学になかったのでおもしろかった。
- ・手技が多く、勉強になった。参加して本当に良かった。

《超音波について》

- ・採卵方法を初めて知ることが出来た。
- ・採卵が思ったよりも難しかった。
- ・ポリクリ前で、エコーなども触ったことがなく、今回やり方をしっかり学びました。
- ・経膈エコーのシュミレーターで所見を探るのが印象に残った。
- ・学校の実習では体験できない内診やエコーが経験出来て良かった。
- ・超音波の機材が新しく、色々なシュミレーションを体験することができた。

6 今後、どのような内容があれば「また参加したい」と思うか

- ・同じような内容で、もう少し時間を長くしてほしい。
- ・シュミレーターを用いた実践的な内容。
- ・加えるなら学問的な内容
- ・婦人科の内容もプラスすればより面白い。
- ・分娩が楽しかったので、分娩/NCPRがボリュームアップすると楽しい。

7 実施時期について(毎年 1 月下旬から 2 月上旬に実施)

15名全員が「今のままでよい」と回答。

その理由として 1 名は、「テストや実習も落ち着いている。」からと回答。

8 グループ分けについて

14名は「今回のままでよい」と回答。

1 名は「実習と座談会は同じメンバーの方が良かった。」と回答。

9 当セミナー受講による産婦人科医療への関心度と専攻する意向について

高まった = 5点、すこし高まった = 4点、変化なし = 3点、少し低下した = 2点、低下した = 1点
とした場合の平均点

- ①産婦人科医療への関心 4.9点
- ②産婦人科医療を専攻する意向 4.8点

